

令和4年度

# 教育行政執行方針

登別市教育委員会

令和4年第1回登別市議会定例会にあたり、教育委員会所管の行政執行に関する基本方針を申し上げます。

近年、少子高齢化やグローバル化、デジタル化の進展、さらには新型コロナウイルス感染症の感染拡大などによって、人々の価値観や生活様式が大きく変わり、従来の知識や経験だけでは解を見いだすことが難しい時代となりました。

こうした先行き不透明な時代において、子どもたちが豊かな人生を切り拓いていくためには、一人ひとりが自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会の創り手として成長していくことが必要であります。

教育委員会としましては、「登別市教育振興基本計画」に掲げる「豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成」を目指し、学校・家庭・地域が一体となって、新しい時代にふさわしい質の高い教育の推進に努めてまいります。

以下、令和4年度の重点項目について申し上げます。

はじめに地域とともにある学校づくりについてであります。

本市においては、これまでも地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域づくりを進める地域学校協働活動に対し、様々な学校支援を進めてまいり

ました。

今後も、地域学校協働本部を通して、幅広い地域の方々の参画により、創意ある体験活動や交流活動が展開される環境づくりに取り組んでまいります。

次に学校教育についてであります。

I C T を活用した学びの充実については、G I G A スクール構想に基づき「1人1台端末」の整備を完了しましたので、登別市情報教育推進協議会と連携し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、学校や家庭においてオンライン上で学習できる「文部科学省 C B T システム」を導入するなど、誰一人取り残すことなく、学びを止めない環境を整備してまいります。

教員の指導力の向上については、登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援するとともに、授業力向上を目指した研修を充実させるなど、対面での指導とICTを効果的に活用した指導の最適な組み合わせにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図ってまいります。

また、校務支援システムの効果的な活用や道教委の指定を受けた「学校力向上に関する総合実践事業」の成果をもとに、業務改善や効率化を図り、教職員が子どもと向き合う時間をさらに確保できるよう、努めてまいります。

確かな学力の向上については、各学校における検証と改善のサイクルに基づく学習上の課題について、登別市教

育課程課題検討委員会で共有するとともに、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を促してまいります。

また、学校図書館については、学校司書の活用により、環境整備や授業支援、読書支援を通して、機能の充実を図ってまいります。

英語教育については、外国語専科教員や外国語指導助手を効果的に活用しながら、児童生徒の「聞く・話す・読む・書く」など、バランスのとれた英語力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育むとともに、生きた英語に触れる機会の拡充に努めてまいります。

幼保小中連携については、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続するとともに、スタートカリキュラムの改善など、発達段階や学びの連続性を踏まえた活動の充実に努めてまいります。

また、「登別市小中一貫教育基本方針」に基づき、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導の充実を図るとともに、「中1ギャップ問題未然防止事業」を推進し、実践校の成果を市内小中学校に還元してまいります。

豊かな心の育成については、教育活動全般を通して、自尊感情や自己有用感を育むとともに、児童生徒に寄り添った授業を通して、誰もが自己の成長

を実感し、達成感がもてるよう、取り組んでまいります。

また、ふるさとを愛し、登別の歴史・文化・自然に誇りをもてるよう、地域資源を生かした体験活動やキャリア教育の充実に努めてまいります。

いじめ・不登校対策については、「いじめ・不登校等対策会議」での事例研修や情報交流を通して、問題の未然防止や早期発見・早期対応に努めるとともに、スクールカウンセラーの配置拡充や各種相談体制の充実、さらには適応指導教室の充実などにより、個に応じた指導が適切に実施されるよう、努めてまいります。

特に、「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を通



して、児童生徒がいじめ問題を主体的に考え、各校の児童会・生徒会活動の成果と課題を共有する機会を設けるなど、引き続き「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を推進してまいります。

健康・体力づくりについては、社会環境や生活様式の変化、コロナ禍の影響などもあり、児童生徒の運動機会の減少や体力の低下が生じておりますので、スポーツ指導員の派遣などを通して、学校における体育指導の充実や運動の習慣化を図ってまいります。

また、「ノーゲームデー」の啓発や「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」の周知徹底を通して、家庭における規則正しい生活習慣の定着を促して

まいります。

特別支援教育については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の充実や関係機関との連携により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童生徒が幼児期から一貫した支援を受けられるよう、体制の整備に努めてまいります。

安全対策・安全指導については、学校が実施する避難訓練や一日防災教室などを通して、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切に対応することができるよう支援してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、国や北海道の通知に準

拠して本市が作成した基本対応マニュアル等に基づき、登別市校長会と協議の上、感染状況に対応しながら、感染症の拡大防止と円滑な教育活動の両立に努めてまいります。

学校の適正配置については、新たに策定した「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」に基づき、現在、第1期の課題について検討しておりますが、このうち幌別東小学校については、令和7年4月に、幌別小学校と統合を行う方向で具体的な取組を進めてまいります。

次に社会教育についてであります。  
市民一人ひとりが生きがいを持ち、

自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向け、「第6次社会教育中期計画」に基づき、各種施策に取り組んでまいります。

ふるさと教育については、将来においても、市民が郷土への愛着と関心を深めながら心豊かに暮らしていくことができるよう、郷土資料館において本市のあゆみを形づくる歴史資料の保存・展示に努めてまいります。

また、アイヌ文化の振興については、本年、『アイヌ神謡集』の作者であり、本市を生誕の地とする知里幸恵の没後100年を迎えることを機に、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の鑑賞会を開催するとともに、（仮称）登別市情報発信拠点施設「ヌプル」に

において、知里家に関連する資料の展示を企画してまいります。

さらに、NPO法人知里<sup>ちり</sup>森舎<sup>しんしゃ</sup>が取り組むフォーラム等の各種事業を支援するなど、登別に縁のあるアイヌ文化への関心が高まるよう、努めてまいります。

文化・スポーツの振興については、登別市文化・スポーツ振興財団や各関係団体と連携し、市民の文化・スポーツ活動への参加促進と文化講座、各種スポーツ教室の充実を図ってまいります。

また、少子化やスポーツ人口の減少が進む中、国の「地域運動部活動推進事業」を活用し、休日部活動の段階的な地域移行に関する実践研究を推進

するとともに、本市の実情に沿った望ましいスポーツ環境の構築を目指してまいります。

さらに、トップアスリートと触れ合いながら、さまざまな種目のスポーツを体験する「<sup>ソ</sup> <sup>ン</sup> <sup>ボ</sup> <sup>ポ</sup> <sup>ソ</sup> <sup>ン</sup> <sup>ボ</sup> <sup>ポ</sup> ボールゲームフェスタ」を開催いたします。

家庭教育については、家庭教育学級を開設し、子育てに関する啓発資料の提供や学習機会の充実とともに、保護者同士の交流や親子の時間の確保が図られるよう、努めてまいります。

青少年の健全育成については、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域・関係機関と連携し、街頭指導や巡回指導などに取り組み、子どもの非行

防止と登下校時の安全確保に努めてまいります。

また、不審者情報を地域と共有し、監視と巡回パトロールを実施するとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施してまいります。

学校給食については、衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努めてまいります。

図書館については、市民活動サポーターとの協働により、郷土資料のデジタル化を進めるとともに、電子

図書館を広く市民へ周知し利用の促進に努めるなど、市民一人ひとりが自己実現に向けて、豊かな時間を過ごすことができる図書館を目指してまいります。

以上、令和4年度の重点項目について申し上げます。

教育委員会としましては、市長部局との連携を深めながら、持続可能な社会を目指すSDGsの理念を踏まえ、市民誰もが多様な学びを実践できるよう、包摂的かつ公正な質の高い教育を推進してまいります。

市民の皆さん並びに議会議員の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。